

2021年3月31日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

消化管出血に対する TACE 支援ソフトウェアを用いた IVR 支援の有用性

2. 研究責任者

海南病院放射線技術科 中野 雅浩

3. 研究の概要

消化管出血は時に致死的になることがあるため、緊急で Interventional Radiology (IVR) を用いて破綻血管の止血を要する疾患の一つです。消化管出血と同様に IVR が行われる肝臓癌治療法である肝動脈化学塞栓療法 (TACE) では、近年 TACE 支援ソフトウェア開発により責任血管同定作業が簡略化され、腫瘍血管同定のために繰り返し造影撮影を行う必要が減り、正確性とスピードの改善に貢献しています。当院では TACE 支援ソフトウェアを消化管出血に対して臨床応用する試みを行っております。

本研究の目的は、従来 TACE で用いているソフトウェアを消化管出血に用いた際の臨床的有用性と、責任血管同定のための撮影回数を低減することにより造影剤の使用量および被ばく線量が低減可能かについて検討します。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2019年3月から2021年2月までに腹部 IVR を施行した方

② 使用する試料等

残余検体：使用なし

カルテ情報：年齢、性別、診断名、治療に関する情報など。

5. 個人情報の取扱い

患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際個人を特定できる情報の掲載は行いません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 放射線技術科 中野 雅浩
電話：0567-65-2511（代表）